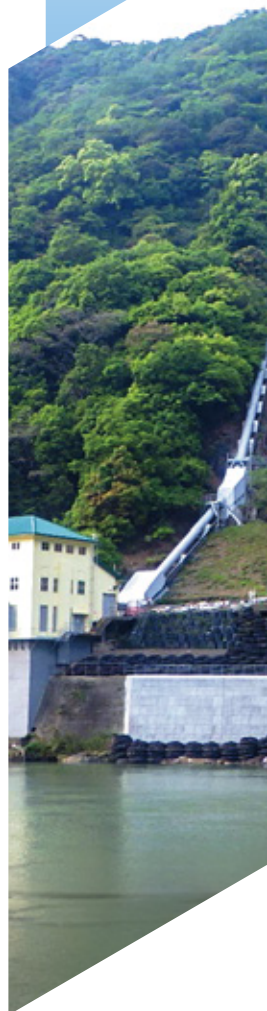




JNC株式会社 会社案内



明日につながる素材をつくり 化学の力で未来を守る

明日につながる 素材をつくり 化学の力で 未来を守る

昨日より今日、今日より明日。
私たちは日々、社会課題解決に取り組み
豊かな未来の実現を目指しています。
そして、その未来を守り、
次の世代に引き継ぐことで
持続可能な社会の発展に貢献していきます。

当社グループは、1906年に曾木電気株式会社を創業してから現在に至るまで、化学産業界のパイオニアとして常に社会の発展に貢献することを目指してまいりました。地球環境と調和したものづくり、お客様の課題や社会ニーズを解決し健康で豊かな暮らしを実現すること、そして、世界で活躍できる優秀な人材を育て、持続可能な社会を実現していくことが私たちの変わらぬ使命です。
私たちJNCグループは、技術、製品、サービスを通じて、サステナブルな未来の実現に向けて明日につながる、よろこびを提供してまいります。



代表取締役社長 社長執行役員

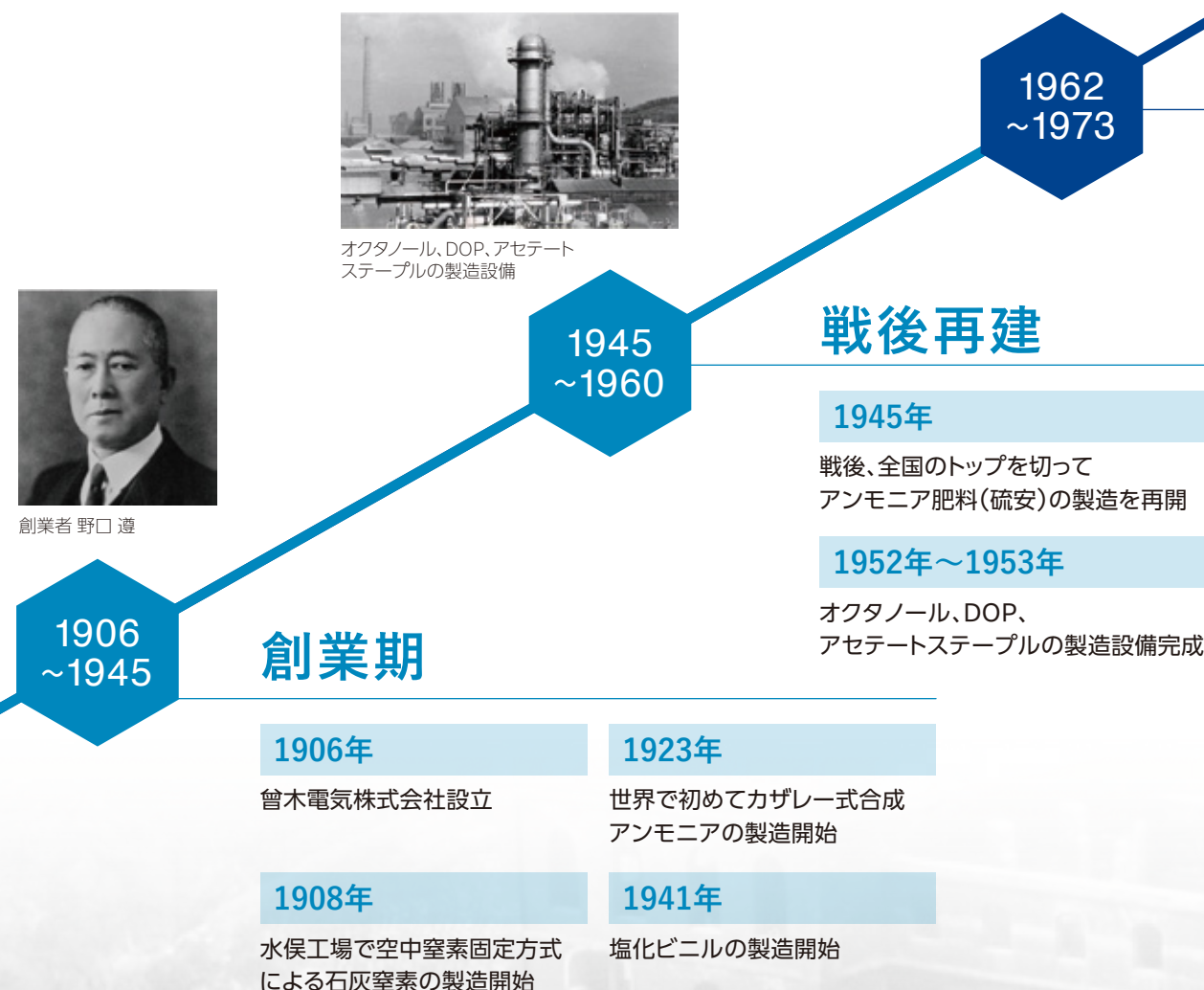
浅野 進



皆さんの暮らしとともに歩み続け、120年。

次の世紀でも、皆さんとともに
あり続けるべく歩みを重ねます。

創業から現在、そしてこの先の未来も、
皆さまとともに歩み続けていくため、サステナブルな社会の実現に、
当社グループの技術・製品・サービスを通じて貢献してまいります。



創業者 野口 遵



オクタノール、DOP、アセテートステープルの製造設備

石油化学進出

1963年

ポリプロピレンおよび
ポリプロ繊維の製造設備完成

1965年

チッソ株式会社に改称

1969年

高密度ポリエチレンの製造設備完成、
オクタノール(オキシ法)、
DOPの製造設備完成

1973年

液晶製造設備完成



ポリプロピレン製造設備第1期

先端化学企業へ

1980年

有機シリコン化合物の製造設備完成

1981年

球状セルローズゲル(Cellufine™)の
製造設備完成

1984年

天然物系食品保存剤(ポリリジン)の
製造設備完成



シリコン工場



高千穂発電所

次の100年へ

2011年

JNC株式会社設立

JNC

2017年

台湾ディスプレイ
技術センター設置

2019年

超高色純度の
有機ELディスプレイ用
青色発光材料を開発

2024年

九州地区13か所の
水力発電所リニューアル工事完了

2026年

JNC株式会社設立15周年

高機能材料

情報通信、エレクトロニクス、モビリティ分野をはじめ、
さまざまな産業の発展に貢献する高機能材料を提供しています。
私たちの素材は、社会や暮らしの基盤を見えないところで支えています。

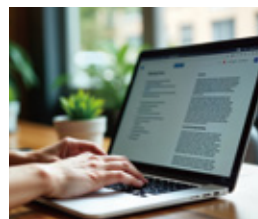
液晶

液晶事業部

結晶の配列秩序と液体の流動性をあわせ持つ液晶材料は、電気を用いて光を通す量をコントロールできます。このため、テレビ、PCモニター、スマートフォン、自動車などのディスプレイ用材料として広く使われています。当社は、皆さまの暮らしに密着している液晶材料を、厳密な品質管理のもとで製造しています。他にも調光ガラスやセンシングデバイスなど幅広い用途への適応検討を進めています。



液晶



ノートPCをはじめ各種ディスプレイに使われています。

配向膜

液晶事業部 長沙道安捷新材料有限公司

配向膜は、液晶ディスプレイに映し出される色(光)をコントロールするのに必要不可欠な材料です。当社の配向膜では、液晶分子を液晶ディスプレイの駆動モードに応じて配向や傾きを制御することが可能です。また、従来のラビング法に加えノンラビング法の材料技術も保有しており、特に横電界モード用配向膜ではラビング法・ノンラビング(光配向)法のいずれのプロセスにも対応した材料を有し、高表示品位と高信頼性を達成しています。



配向膜



ディスプレイの視野角や生産性などの向上に貢献しています。

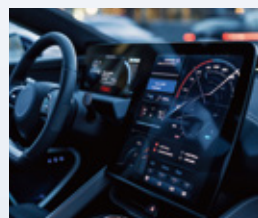
オーバーコート

液晶事業部

カラーフィルター用保護膜はカラーフィルターからの不純物の悪影響を防ぐ役割や、液晶ディスプレイ構成基盤を平坦化させ、高表示品位を確保する役割があります。当社のオーバーコート材料はポリイミドとエポキシの長所を組み合わせた材料であり、高い耐熱性・高い透明性という特徴を有しています。



オーバーコート



ディスプレイ内部を保護し、耐久性などの向上に貢献しています。

有機シリコン製品

情報材料事業部

近年、PFAS対応で注目を浴びているシリコン材料。
当社では、次の3つの製品群を製造しています。

サイラプレーン®

反応性シリコンであるサイラプレーン®は、主にシリコンハイドロゲルコンタクトレンズ、機能性コーティング剤及び放熱材等に使用されています。

サイラエース®

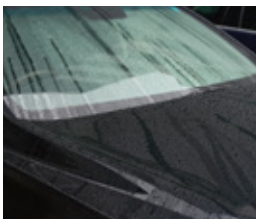
シランカップリング剤であるサイラエース®は、主に半導体やデバイス関連部材に使用されています。

シラン化合物

シラン化合物は、主に樹脂改質剤、電子材料などに使用されています。



コンタクトレンズに酸素透過性などを付与します。

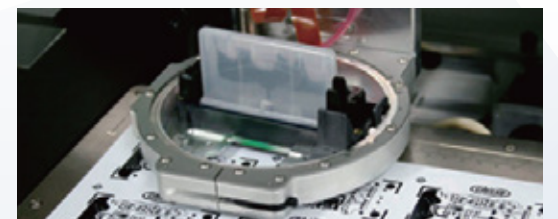


自動車のコーティング剤に、PFAS代替として使用されています。

プリンテッド・エレクトロニクス

情報材料事業部

当社では、お客様の要望に応えながら、光硬化性材料や熱硬化性ポリイミド材料の開発・製造を続けています。こうした技術の蓄積を基に、材料ロスおよび廃棄物発生抑制に寄与可能な高精度でオンデマンドな印刷方法として注目されているインクジェット印刷を含むデジタル塗布など、さまざまな印刷方法に合わせてインク組成を調整することが可能です。

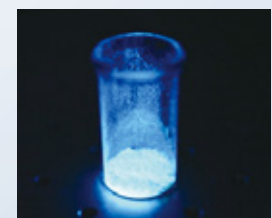


材料特性・印刷性が両立する製品開発を目指しています。

有機EL (OLED)

SK materials JNC Co.,Ltd

有機ELは、薄型・軽量・高速応答・高コントラストなどの優れた特徴を活かし、テレビやスマートフォンに搭載されて広く流通し、タブレットやノートPC、VRゴーグルなど、デバイスでの利用も広がっています。当社は、高性能化の鍵である青色発光材料技術に強みを持ち、その普及・拡大に貢献してきました。さらなる市場の需要に応えるため、韓国のSKグループと合併会社を設立し、事業の安定・拡大を進めています。



青色発光材料



有機ELパネルの消費電力、色域および寿命改善に貢献しています。

アグリ・ライフイノベーション

私たちの食生活を支える各種肥料・農水産業向け資材や、
普段の生活のあらゆるシーンに溶け込んでいるライフケミカル製品・
繊維製品に樹脂加工品。
私たちJNCグループの製品は、皆さまの生活に常に寄り添っています。



肥料

ジェイカムアグリ株式会社

安定した食料生産を支える高品質な肥料や、園芸・水稻向けの培土を提供しています。主力製品であるコーティング肥料は、成分の溶出時期を精密にコントロールすることで、施肥回数や施肥量の削減を実現し、農作業の省力化と環境負荷低減※に貢献しています。
さらに、プラスチックを削減した「Jコート®」を上市し、将来的には生分解性樹脂の適用を目指し、研究開発を進めています。

※温室効果ガス削減(約2割; CO₂換算)、河川等への肥料流出抑制(約3割)。
上記は、一般的な化成肥料との比較(当社試算)。



苗箱まかせ®(育苗箱施肥)本田への施肥を省略する究極の省力化技術及び増収技術へ展開



Jコート®(環境配慮型コーティング肥料)従来品対比でプラスチック含有量を約4割削減

ライフケミカル製品

ライフケミカル事業部

医療・美容・衛生・食品分野など、私たちの身近な生活の場面に活用され、今後も幅広い分野での需要拡大が期待されています。
主な製品は、バイオ医薬品等の精製に使用されるセルロース由来のクロマトグラフィー充填剤のCellufine™、化粧品に使用されるセルロース粒子のCellulflow™。アミノ酸から構成される天然由来の食品保存料のポリリジン。微生物検査培地のMC-Media Pad™など多岐にわたっています。



Cellufine™



ワクチンや抗体医薬の精製などに使われています。

繊維・不織布製品

繊維事業部 ES INDORAMA VENTURES 株式会社

当社は、「ES繊維」(ポリオレフィン系熱接着性複合繊維)の商業生産に世界で初めて成功したパイオニアです。
現在は、合併会社であるES INDORAMA VENTURESを通じて、全世界に販売しています。また、ES繊維を原料とするエスルー不織布「EsSoft®」(エスソフト)は、嵩高で柔らかい風合いが特徴で、紙おむつや生理用品、フィルター等生活に欠かせない製品に広く用いられています。



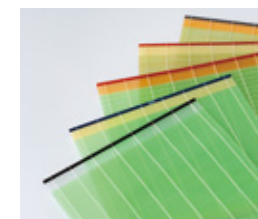
ES繊維を使用した不織布は、肌触りの良さなどから、紙オムツなどの衛生材料等に使われています。



樹脂加工品

JNC開発株式会社 オージェイケイ株式会社

農業・水産業用途や、食品や衛生資材等の包装など、私たちの暮らしを支える場面に使われるプラスチック加工品を生産しています。
樹脂袋、海苔簀、モノフィラメントネット、PPシート、PETシート、PPフィルム、各種成型品など、加工性の高い製品を揃えています。また、バイオマス原料を活用したPPおよびPETシートも製造しています。



ケミノリス®



PPシート:バリア性を備えた製品です。

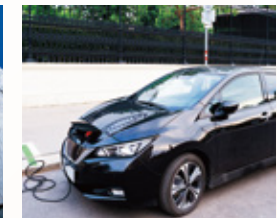
フィルター

JNCフィルター株式会社

原料調達からフィルター成形まで一貫してJNCグループ内で完結できる体制を築いており、日本発ならではの安定した信頼性の高い品質と、優れた機能をもつ製品を提供できることが特長です。
JNCフィルターの製品は、化学工業や電子・半導体、自動車、食品、医療、化粧品など、幅広い分野で活用されています。



当社グループの複合繊維を組み合わせ、フィルターを製造しています。



自動車部品:塗料やバッテリーやギアオイルなどの製造時に当社フィルターが使用されています。

ケミカルマテリアル

石油化学製品は、私たちの身近なところで快適な暮らしづくりに貢献しています。

また、石油化学製品の技術ライセンスや、長年の経験・製造実績を基に

各種有機合成の受託製造・精製も行っています。

溶剤・工業材料・塗料・接着剤添加剤

化学品事業部

2-エチルヘキサノール、ブタノールに代表されるオキシアルコールは、可塑剤をはじめ、各種溶剤・塗料・接着剤添加剤など、その用途は多岐に渡り、暮らしのさまざまなシーンに鮮やかな彩りを創り出しています。

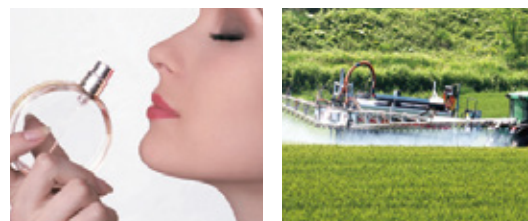


塗料、接着材添加剤などに使われています。

有機合成原料・香料原料

化学品事業部

当社の有機合成原料は、電子材料、機能性樹脂、医薬・農業などのさまざまな分野で利用されています。また、当社ならではの有機合成技術により、グリーンノートなど多彩な香料原料を開発し、化粧品からトイレタリー製品や芳香剤等のフレグランス、食品・清涼飲料水等のフレーバーにいたるまで、生活の幅広い分野に利用されています。

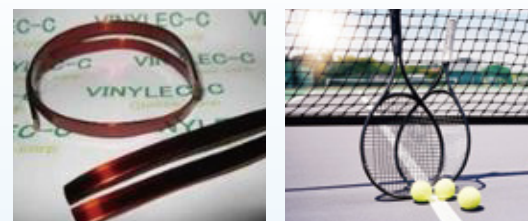


香料、農業など様々な分野に活用されています。

ポリビニルホルマール樹脂（ビニレック®）

化学品事業部

ビニレック®は、変圧器のコイルなどに使用されるエナメル線用ワニスに世界的に使用されています。その他、自動車・航空機の軽量化、構造物用の特殊接着剤、特殊塗料など様々な用途で広く使用されています。また、FRP用強化剤として開発したビニレック®-Cは、熱硬化樹脂（エポキシ樹脂）に混合する事で靱性等の向上が期待されています。



電線の被覆材やラケット等の炭素繊維などに使われています。

可塑剤

化学品事業部

私たちの生活のあらゆる場面に使われているプラスチック。可塑剤は、塩化ビニル樹脂を中心としたプラスチック製品に柔軟性を与えることで、私たちの暮らしをより便利に、快適にすることに貢献しています。



屋上の防水塗膜や部屋の壁紙などに使われています。

合成樹脂ライセンス

化学品事業部ライセンス部

当社は、1941年に日本で初めてポリ塩化ビニル(PVC)の商業生産を日本で初めて開始したパイオニアとして、下記の洗練された技術を世界中にライセンスしています。

- ・PVCプロセス
- ・脱モノマープロセス



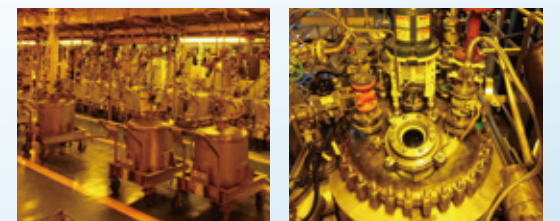
高い技術力を元に設計、建設されたプラントで製造されたポリ塩化ビニル樹脂は各種パイプ、フィルム、住宅資材、電線被覆材をはじめ、幅広い製品分野に使用されています。

受託製造

事業化本部

開発品の少量試作からプロセス開発に製品の製造/精製まで幅広く受託し、機能性材料、医薬・農業中間体等の分野で積み重ねた実績を基にご要望の化合物をタイムリーにお届けします。

また、受託製造を行っている水俣製造所は、当社の水力発電所由来の電力を主なエネルギー源として活用し、温室効果ガス排出の抑制に向けた取り組みを進めています。



クロマト設備

低温反応器

グリーンエネルギー・ エンジニアリング・商事

地球環境の保全を重要課題の一つとして捉え、当社グループの
ノウハウを基にした技術開発による環境負荷低減に取り組んでいます。



水力発電

電力事業部

1906年の創業以来、水俣製造所の主要エネルギー源は一貫して自社水力発電所の電力です。当社は、長期的な老朽化対策を施すことで、貴重な財産である水力発電所を、100年以上にわたり大切に維持管理してまいりました。2024年に全発電所のリニューアル工事を完了し、次の100年に向けて安全安定運転を行っています。



太陽光発電

電力事業部

当社は、これまでの発電に関する知識と経験を生かし、環境負荷の低減に寄与することが重要だと考えています。現在は3カ所の太陽光発電所を保有しています。



エンジニアリング

JNCエンジニアリング株式会社

プラント事業では、化学、電子材料、ファインケミカルなど、事業計画からEPC、運転指導まで、ユーザー系エンジニアリング会社の特徴を活かしたトータルサポートを行っています。
環境エネルギー事業では、独自に開発した「自然浄化法リアクターシステム®」、新製品の「EXT REACTOR™(外装型リアクター)」、「電気加熱システム(SECT®法)」に加え、設計業務での3D活用/DDX(Design DX)を推進し、水力発電所リニューアルや使用済プラスチックから油を生産するケミカルリサイクルプラントの建設など、温室効果ガス排出削減や脱炭素社会の実現に向けた技術・インフラの整備に取り組んでいます。

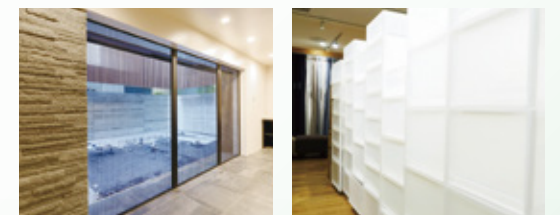


JNCエンジニアリング株式会社本社展示室

商事

日祥株式会社

日祥(株)は、1971年にJNCグループの化学製品を取り扱う専門商社として誕生しました。化学品のトレードから加工事業へとユーザーの課題を解決するため幅広く活動しております。現在では東京、名古屋、大阪、タイ/バンコク、中国/上海、台湾/台北を拠点に営業活動を広げています。



生活雑貨などに使われているポリプロピレン樹脂やポリエチレン樹脂などの供給を通じ、皆さまの暮らしを支えています。

JNCの挑戦/新規開拓

JNCグループの研究開発は持続的成長を実現するため、保有技術の強化と外部知見・協業を活用する新技術の獲得/技術進化を繰り返し、将来の社会課題を解消する新規事業の創出に向けて、3つの重点項目に取り組んでいます。

3つの重点項目

01

事業拡大

既存事業の利益拡大、用途展開へ技術強化と技術融和から価値を創造する。

02

競争力強化

シリコン材料、ライフケミカル分野の基盤技術・製品開発に資源を投入する。

jnc

03

サステナビリティへの寄与

エネルギー・資源循環に関する社会課題の解決に向け、技術獲得に挑戦する。

information
アンテナ向け
液晶材料[情報]

自動運転制御および高速通信サービスなどの安定使用に向けて、液晶アンテナ(5G、6G高速通信用ミリ波制御素子)および5G通信などの液晶反射板に適用できる液晶材料の提供を進めます。

energy environment
シリコン基盤材料
[エネルギーと環境]

シリコン材料は高耐久性と安全性を持ち、多くの産業分野で活用されています。これらの特性を活かし、製品の長寿命化や交換頻度低減により、廃棄物削減などに貢献できる製品を展開しています。

health
ライフケミカル
クロマトグラフィー用
充填剤
[健康]

高い薬効と少ない副作用を特徴とするバイオ医薬品の市場拡大に伴い、精製材料市場(クロマト担体市場)も拡大、要求が高度化しています。吸着能と流速特性を向上させた新規担体の開発、提供を通じて、健康維持に貢献します。

information and energy
半導体製造向け
プロセス材料
[情報とエネルギー]

生活に欠くことのできない半導体の製造革新に向けて、清浄度向上に向けたフィルター、プロセス数を削減するハイブリッド材料、使用する化学品の減量につながる工法の開発に挑戦しています。

challenge
社会課題への対応
[挑戦]

中長期的視点で、将来を見据えた技術プラットフォームの強化へ、アイデア創出から、オープン・イノベーション(外部リソース)も活用し、情報、環境、資源、食料分野での事業創出に挑戦しています。

サステナビリティへの取り組み

JNCグループは、「地球環境の保全」、「安全の維持」、「安全な製品の供給」、「企業倫理意識の徹底」、「社会との率直な対話」をサステナビリティ活動の基本理念に据え、社会の持続的な発展に貢献します。

JNCグループ サステナビリティ基本方針

明日につながる素材をつくり、化学の力で未来を守る

私たちJNCグループは、技術、製品、サービスを通じて、サステナブルな未来の実現に向けて明日につながる、よるこびを提供します。



環境に配慮した事業活動（環境）

省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用、各種廃棄物の削減、環境負荷低減、カーボンニュートラルへの取り組みなどを通じて、環境保護に貢献する事業活動を行うとともに、生物多様性の保全にも取り組みます。



社会との調和（社会）

地域貢献活動に積極的に取り組み、地域社会の一員としての役割を果たします。
全ての人々の人権を尊重し、多様性に配慮した事業活動の推進と、働きがいのある職場環境を構築します。



持続可能な経済活動（経済）

お客様とともにサステナブルな社会の実現を目指し、長期的視野で事業活動を推進します。
お客様に満足していただける安全・安心な技術、製品、サービスを提供し続けます。



安全の維持（安全）

社員一人ひとりが高い安全意識を持ち、「安全常に」をモットーとし、安全・安定操業と保安防災に努めます。



公正な事業慣行（コンプライアンス・ガバナンス）

法令および規則を遵守し、企業倫理意識の徹底により公正な事業活動を行います。
組織内管理体制の強化を図り、健全な企業経営を推進します。

SDGsへの取り組み

SDGsに対するJNCの取り組み方針を以下の様に定めています。

『JNCは、SDGsを世界共通の目標と認識し、企業活動を通じて、その達成に貢献していく』

カーボンニュートラルへの取り組み

地球温暖化が要因とされる異常気象が発生し、気候変動が身近なものに感じられています。このような背景には、温室効果ガス（GHG）の影響が大きいとされ、2023年3月に公開されたIPCC第6次統合報告書では、2050年にGHG排出量をゼロにして初めて地球温暖化が1.5℃に抑えられ、リスクの低減につながるとされています。JNCグループでは2022年に「JNCカーボンニュートラル宣言」を制定し、2050年GHG排出量をネットゼロにすることを目指し、削減の取り組みを推進しています。



JNCカーボンニュートラル宣言

カーボンニュートラルの達成に向けてJNCグループでは、2050年カーボンニュートラルに向け、サプライチェーンを含めた取り組みとして「JNCカーボンニュートラル宣言」を決定し、目標達成を目指しています。

- 2050年GHG排出量ネットゼロを目標に全社を挙げて取り組む。
- マイルストーンとして、2030年のScope1およびScope2のGHG排出量38%削減を目指す（対2013年度比）。
- Scope3に関わる排出量の削減のため、上下流のサプライチェーンと協働して取り組む。

DEIへの取り組み

JNCグループは、DEI（Diversity, Equity & Inclusion）を企業活動の重要な柱と位置付け、すべての人がその能力を最大限に発揮できる公平で働きがいのある職場づくりに取り組んでいます。性別や年齢、国籍、障がいの有無といった多様性だけでなく、価値観や考え方、経験など目に見えにくい多様性も大切に、一人ひとりの違いを生かすことができる環境を目指します。人権と尊厳を守り、相互理解と成長を支える環境を整えることで、多様な視点を企業の力とし、社会に新たな価値を提供し続けます。

DEI推進宣言

JNCグループはDEI（Diversity, Equity & Inclusion）を推進し、「優れた技術で社会の進歩に貢献する先端化学企業」として付加価値を生み出し続ける企業を目指します。多様性を経営の根幹に据え、人権と尊厳を守り、公平で働きがいのある職場づくりを通じて、全ての人が自身の能力を最大限に発揮できるように支援します。

2025年4月1日 浅野 進

事業拠点

国内

東京

- ①本社
〒100-8105 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル
- ②ジェイカムアグリ株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-6
ニッセイ神田須田町ビル
- ③日本ポリプロ株式会社
〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1
パレスビル
- ④京葉ポリエチレン株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋
3-12-1 第1三木ビル
- ⑤千葉ファインケミカル株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町
2-3-1 NBF神田須田町ビル
- ⑥日祥株式会社
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町
2-3-1 NBF神田須田町ビル

千葉

- ⑦JNC石油化学(株) 市原製造所/
高機能材料開発研究所/未来技術研究所
〒290-8551 千葉県市原市五井海岸5-1
- ⑧SK JNC Japan 株式会社
〒290-8551 千葉県市原市五井海岸5-1
- ⑨JNCエンジニアリング株式会社
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2-3-1
塚本大千葉ビル
- ⑩サンワ工事株式会社
〒290-0044 千葉県市原市玉前西3-5-11
(市原特別工業区内)
- ⑪テクノインテリジェンスサービス株式会社
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見
2-3-1 塚本大千葉ビル

神奈川

- ⑫横浜研究所
〒236-8605 神奈川県横浜市金沢区大川5-1

滋賀

- ⑬JNCファイバース(株) 守山工場/守山研究所
〒524-0001 滋賀県守山市川田町230
- ⑭JNCフィルター(株)守山事業所
〒524-0001 滋賀県守山市川田町230

大阪

- ⑮大阪事務所
〒530-6108 大阪府大阪市北区中之島
3-3-23 中之島ダイビル
- ⑯JNCフィルター株式会社
〒530-6108 大阪府大阪市北区中之島
3-3-23 中之島ダイビル
- ⑰ES INDORAMA VENTURES株式会社
〒530-6108 大阪府大阪市北区中之島
3-3-23 中之島ダイビル
- ⑱オージェイケイ株式会社
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2-1300
大阪駅前第2ビル

福岡

- ⑲九州化学工業(株) 戸畑工場/JNCマテリアル(株) 戸畑工場
〒804-0002 福岡県北九州市戸畑区
大字中原字先ノ浜46-94

熊本

- ⑳水俣製造所/イノベーションセンター
〒867-8501 熊本県水俣市野口町1-1
- ㉑JNC開発株式会社
〒867-0054 熊本県水俣市汐見町1-5-45
- ㉒株式会社アール・ビー・エス
〒867-0035 熊本県水俣市月浦54-190
- ㉓新興製機株式会社
〒867-0068 熊本県水俣市浜松町4-101
- ㉔株式会社JNCヒューマンテック・サポート
〒867-8501 熊本県水俣市野口町1-1
- ㉕株式会社JNCパワー
〒867-8501 熊本県水俣市野口町1-1
- ㉖JNCセントラル株式会社
〒867-0058 熊本県水俣市丸島町1-2-15

海外

デンマーク

- ㉗ ES INDORAMA VENTURES DENMARK APS

アメリカ

- ㉘ES INDORAMA VENTURES LP ㉙JNC AMERICA, INC.
- ㉚JNC NORTH AMERICAN CORP.

台湾

- ㉛台湾捷恩智股份有限公司 ㉜台湾傑康農業科技股份有限公司

韓国

- ㉝JNC KOREA CO., LTD. ㉞SK MATERIALS JNC CO., LTD.

ベトナム

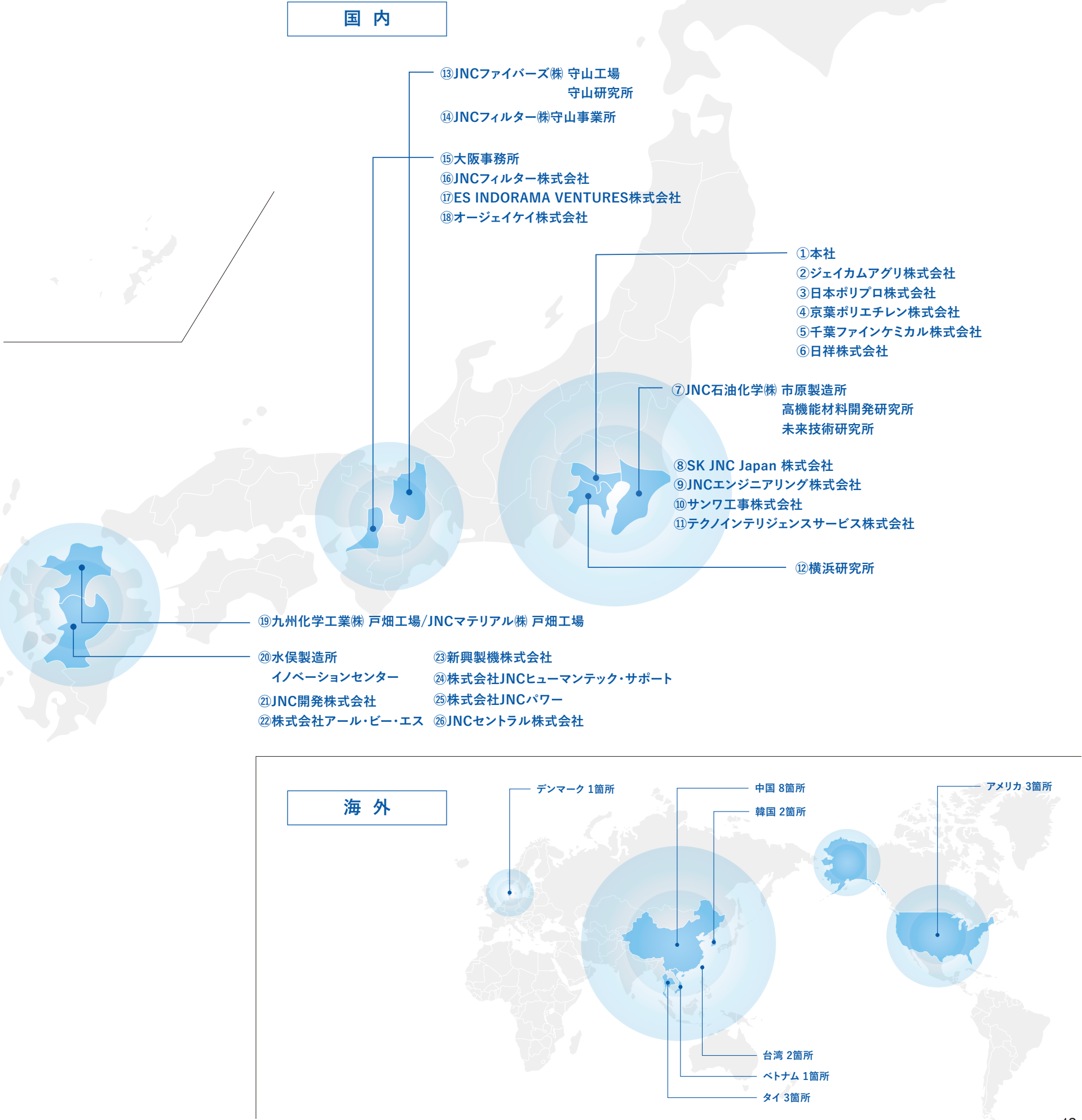
- ㉟JNC FILTER VIETNAM CO., LTD.

タイ

- ㊱THAI NISSHO TRADING CO., LTD.
- ㊲ES INDORAMA VENTURES RAYONG CO., LTD.
- ㊳JNC NONWOVENS(THAILAND)CO., LTD.

中国

- ㊴捷恩智(上海)企業管理有限公司
- ㊵尼寿貿易(上海)有限公司
- ㊶捷恩智纖維貿易(上海)有限公司
- ㊷芸愛絲銀都拉瑪纖維(上海)有限公司
- ㊸芸愛絲銀都拉瑪(蘇州)衛生材料有限公司
- ㊹広州ES纖維有限公司
- ㊺広州捷恩智濾材貿易有限公司
- ㊻長沙道安捷新材料有限公司



JNC株式会社

〒100-8105

東京都千代田区大手町2丁目2番1号 新大手町ビル9階

TEL:03-3243-6760 FAX:03-3243-6960

<https://www.jnc-corp.co.jp/>



この冊子に記載された会社名および一部の商品名は、
JNC株式会社および関係各社の、日本およびその他の国における商号、商標または登録商標です。
この冊子の内容の転載や使用にあたっては、適切な利用方法を守ってください。